

音楽科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考力・判断力・表現力】

曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	○思考力・判断力・表現力 聴いた音楽に対してどのような雰囲気を感じ取ったかは表現できるが、その思いに至った理由として要素や要素同士に関連を知覚・感受できない。	・ワークシートやDVD、端末を活用した音の視覚化を図る。 ・グループ活動や生徒が主体的に学習に参加できるよう発問を工夫する。	・鑑賞单元ごと	
第2学年	○思考力・判断力・表現力 楽曲の創意工夫に対して思いや意図をもつことはできるが、表現にあらわれない。	・ワークシートやDVD、ICT機器を活用した音や音楽の視覚化、聴覚化を図る。 ・4人グループにおける言語活動を取り入れた鑑賞活動を実施する。	・実技单元ごと ・鑑賞单元ごと	
第3学年	○思考力・判断力・表現力 楽曲の創意工夫に対して思いや意図をもつことはできるが、その思いや意図が音や音楽として表現されない。	・ワークシートやDVD、端末を活用した音の視覚化を図る。 ・パート練習においてリーダーが指示を出せるように指導する。	・鑑賞单元ごと ・実技单元ごと	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 他者と考えを共有し、それを実際の曲想に即して時間する。
- 2年 実技の表現を他者と互いに聴き合う。
- 3年 実技の表現を他者と互いに聴き合う。

■一人一台コンピュータの活用に関連して

- 1年 発問の仕方等を工夫し、端末を使って意見交換ができるようにする。
- 2年 楽譜作成ソフトを利用し、創意工夫を生かした音楽表現ができるようにする全員が参加できるようにする。
- 3年 端末を利用したパート練習や録音機能を使った復習ができるようにする。

